



公開特許公報

昭49 (1974)10.25

昭和 49年 10月 25日

条阵产品官 萧

発明の名称

液体クロマトグラフの検出器

東京都久至子市岩川町2967番地の5 白茶芬光丁葉株式会社内

氐

此路出版人

東京都八至子市石川町2967番地の 5番

· 新芬克兰蒙珠太会社

代表取締役 宮

1 通

1 通



①特開昭 51-49792

②特願昭 *49-123/45*

④公開日 昭51.(1976)4.30

未請求

113 FZ 113 F/24 113 CIZ

52日本分類

22出願日

審査請求

庁内整理番号

6928 Z4 6928 Z4 1363 Z4

51 Int. C12

(全3頁)

GOIN Z1/6Z GOIN 31/08

1. 発明の名称

液体クロマトグラフの検出器

2. 特許請求の範囲

液体クロマトグラフで分離された試料を移動 相とともに気化した後、水素ガスと混合し、空 気が供給されるパーナー部で燃焼し、発生する 赤外線スペクトルの波長分布,及び(又は)ス ベクトル強度の変化を検出、記録することを特 徴とする液体クロマトグラフの検出器。

3. 発明の詳細な説明

本発明は液体クロマトグラフの検出器に関す るもので、液体クロマトグラフで分離された試 料の赤外線スペクトルの波長分布,及び(又は) スペクトル強度の変化を高感度に検出,記録す るととを目的とするものである。

ガスクロマトグラフの検出器に水素換イオン 検出器(以下F·I·D 検出器と称す。)が用いられ ているととは周知の如くである。

設 F・I・D 検出器の原理図を第1図に示し説明

する。

ガスクロマトグラフのカラムを通過したへり ウム、又はチン素等のキャリャガス中に存在す る有機物試料を水素ガスと混合して、空気中で 燃焼させ、その際生じだ、炎の抵抗値の変化が キャリャガス中に存在する有機物と比例関係を 有することを利用してクロマトクラムを測定す。 るものである。

第2図は上述F·I·D検出器を応用して,失2 の特定の発光波長をフィルター8で選択して, 光強度を測定し、クロマトグラムを得るもので ある。

しかし、液体クロマトグラフの場合は、キャ リアがパツファー溶液、寸なわち、メタノール、 イソオクタン,クロロフオルム等の溶液が使用 され、上述のガスクロマトグラフの様を方法で 水素炎イオン検出法を用いることは不可能であ

その為、キャリア溶液を蒸発させ、残つた成 分のみをF-I-D検出器に導く等の工夫がなされ

ているが,装置,操作等が複雑で,且つ,試料 収量が悪い為ガスクロマトグラフの場合の様に 高級度が測定することが出来なかつた。

従つて本発明の目的は上述路欠点を除去する ことであり、液体クロマトグラフで分離された 試料の赤外線スペクトルの波長分布、及び(又 は)スペクトル強度の変化を高感度に検出、記 録することである。

すなわち、液体クロマトクラフで分離された 試料を移動相とともに気化した後、水素ガスと 混合し、空気が供給されるパーナー部で燃焼し、 発生する赤外線スペクトルの液長分布、及び (又は)スペクトル強度の変化を検出、配録す ることであり、実施例図面第3図、第4図につ いて詳細に説明すると次の通りである。

第3回において、液体クロマトグラフで分離された試料とキャリア溶液は蒸発器20で気化した後、混合器21が水素ガスと混合される。 混合されたガスは空気が供給されるパーナー部22で燃焼される。パーナー部22で燃焼される。パーナー部22には個面に

~5gmの波長で大きな発光をしている。.

この様に炎の赤外線スペクトルはその物質により特長的であり、それぞれの物質の炎の赤外線に合致した、波長を選択、検出すれば液体クロマトグラフの検出器として有用である。

又,液体クロマトグラフで分離された試料は キャリア溶液とともに全て燃焼されるため小さ カピークであつても高感度に検出することがで きる。

従つて以上に述べた如く、液体クロマトクラフで分離された試料を全て利用するため、高感度に測定することができ、又装置も非常に単純、簡易であり、複雑な測定操作を大幅に省略することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図,第2図は従来例を示す側面ブロック図,第3図,第4図(介, 何)は本発明の実施例を示すもので,第3図は側面ブロック図,第4図(介, 何)は赤外線スペクトルを示すものである。

1:電 源 · 2:炎 3:電 極

特別 特爾 昭51-49792 (2) 赤外競透過感 2 3 が設けられており、前記バーナー部 2 2 で燃焼された際、発生する赤外線を波及選択的に分光器 2 4 に導く。 そして、分光器 2 4 で波長分散し、任意の光束が検知器 2 5 で光電変換される。光電変換された信号は増幅器 2 6 で増幅し、記録針 2 7 で記録する。

との分光器24は,干渉フィルター,又は干 渉計を用いてもよい。

液体クロマトグラフで分離された試料を連続的に流通,燃焼させ,選択波長を固定して,連続的に記録すれば赤外線スペクトル強度のクロマトグラムを得ることができる。一方・燃焼された試料の赤外線発展を高速に波長走査すれば、/**IIE
分離試料,個々の赤外線スペクトルの波長分布を得ることができる。

次に第4図(f)(c)は各種換の赤外線放射率の違いを示した赤外線スペクトルの一例である。

第4図(I)は水素炎のものであり、2~3 mm の波長で大きな発光をしている。

第4回付はプロパンガス袋のものであり、4

4: 検出部 5,10,26: 増幅器

6:メーター 7,22:バーナー部

8:フイルター 9,25:検知器

11,27:記錄計 20:蒸発器

21:混合器 23:赤外線透過窓

2 4: 分光器

特許出額人 日本分光工業株式会社



A DOCPHOENIX

IMIS ___

APPL PARTS

Internal Wisc. Faper
LET.
371P
PCT Papers in a 371Application
A
Amendment Including Elections
ABST
Abstract
ADS
Application Data Sheet
AF/D
Affidavit or Exhibit Received
APPENDIX
Appendix
ARTIFACT
Artifact
BIB
Bib Data Sheet
CLM
Claim
COMPUTER
Computer Program Listing
CRFL
All CRF Papers for Backfile
DIST
Terminal Disclaimer Filed
DRW
Drawings
FOR <u>5</u>
Foreign Reference
FRPR
Foreign Priority Papers
IDS
IDS Including 1449

NPL
Non-Patent Literature
OATH
Oath or Declaration
PET.
Petition
RETMAIL
Mail Returned by USPS
SEQLIST
Sequence Listing
SPEC
Specification
SPEC NO
Specification Not in English
TRNA
Transmittal New Application

C	TNF
Count Non-Final	
C	TRS
Count Restriction	
E	XIN
Examiner Intervie	w ——
N	1903
DO/EO Acceptant	ce
N	1905
DO/EO Missing R	equirement
N	IFDR
Formal Drawing F	Required
N	IOA
Notice of Allowane	ce
P	PETDEC
Petition Decision	

OUTGOING

CTMS
Misc. Office Action
1449
Signed 1449
892
892
ABN
Abandonment
APDEC
Board of Appeals Decision
APEA
Examiner Answer
CTAV
Count Advisory Action
CTEQ
Count Ex parte Quayle
CTFR
Count Final Rejection

INCOMING
AP.B
Appeal Brief
C.AD
Change of Address
N/AP
Notice of Appeal
PA
Change in Power of Attorney
REM
Applicant Remarks in Amendment
XT/
Extension of Time filed separate

Internal

____ SRNT_ Examiner Search Notes

CLMPTO

PTO Prepared Complete Claim Set

____ ECBOX

Evidence Copy Box Identification

WCLM

Claim Worksheet

Fee Worksheet WFEE

File Wrapper

File Wrapper Claim

IIFW

File Wrapper Issue Information

SRFW

File Wrapper Search Info